クラウドクレジット株式会社

2018 年 9 月 14 日

バルト三国自動車リースファンド（全号共通）

2018 年 8 月期（2018 年 8 月 1 日～8 月 31 日）の運用状況について

平素よりお世話になっております。バルト三国自動車リースファンドにご投資いただき、ありがとうございます。当期における運用の状況を、以下の通り、ご案内申し上げます。

【運用環境について】

本ファンドは、エストニア共和国で自動車リース事業を行う mogo OÜ が、ラトビア共和国の AS Mintos Marketplace が運営する P2P レンディングマーケットプレイスである Mintos を通して売り出すリース料債権に投資しております。Mintos は 2014 年の設立以来、金融事業者と投資家の仲介実績を伸ばしておりましたが、2016 年 10 月期に、mogo OÜ への投資家からの資金供給が増大したことを受け、Mintos を通しての債権販売条件を変更しました。具体的には、それまでは「自動車リースの債務者が 60 日以上の延滞状態となったときに mogo OÜ が当該リース料債権について買戻しを行うバイバック条項を付与」していたのに対して、2016 年 10 月期以降はバイバック条項付きのリース料債権の売り出しを大きく減らすとともに、バイバック条項付きの案件についてはリース料債権を購入した投資家への支払い利率を引き下げました。

さらにその後、mogo OÜ の業績拡大が継続したことから、2017 年 9 月期において一定量のバイバック条項付き債権の販売を再開しております。

また、2018 年 6 月末におきまして、mogo グループ会社の持株会社である Mogo Finance が利率 9.5% で社債を発行して 50,000,000 EUR（およそ 65 億円相当）の資金調達を行いました[1]。これに伴いまして、mogo グループ各社をはじめとするエストニア・ジョージア・ラトビア・リトアニア等のオリジネーターが提供する貸付を取り扱うプラットフォームである Mintos で販売した mogo グループ各社のリース料債権の買い戻しが行われました[2]。

この買い戻しの対象となったリース料債権には、本ファンドシリーズの資金をもとにして購入した債権も含まれており、購入していたリース料債権の一部について、先月期の分配時までに想定されていた

[1] https://blog.mintos.com/mogo-has-issued-a-bond-worth-eur-50-million/

[2] https://blog.mintos.com/mogo-will-repurchase-part-of-its-loans-on-mintos-following-the-bond-issuance/

償還時期よりも大幅に繰り上げて元本の返済が実行されました。この影響は 2018 年 7 月期、2018 年 8 月期における分配に大きく現れましたが、2018 年 9 月期以降においては、早期償還額は小さくなるものと考えております。

【当社の対応】

本ファンドは、約 2 年もの間にわたって、バイバック条項付き債権の早期償還によって受領した現金を投資家様に分配しておりましたため、2018 年 8 月期においても再投資は行わず、これまで同様に通常返済や早期償還で受領した現金は投資家のみなさまに分配してまいります。

【運用利回り】

本ファンドが所有しているリース料債権は、今期においても販売当初に予定していた期間運用利回りを確保しておりますので、出資金元本を期限前に返済することで投資倍率の低下が見込まれますが、残元本に対する投資利回りは予定通りとなっております。

なお、分配金の詳細につきましては分配金レポート（当社サイト上のマイページに掲載いたしております。）でご確認いただければ幸いです。今後とも弊社業務に対するご理解・支援を賜りますようお願い申し上げます。

＜会社概要（クラウドクレジット株式会社）＞

【代表者】杉山智行　　【設立年月日】2013 年 1 月

【資本金等】1,234,548 千円　　【URL】https://crowdcredit.jp/

第二種金融商品取引業

関東財務局長(金商)第 2809 号

一般社団法人 第二種金融商品取引業協会 加入